

GW期間中の水際防疫対策の徹底

- ◆ 近隣諸国を含めて世界中で口蹄疫、アフリカ豚熱、豚熱、高病原性鳥インフルエンザの発生し著しく拡大しています。
- ◆ 渡り鳥の北帰行、野生イノシシの活動の活発化、引き続き円安による出入国者の増加により感染リスクが高くなることが想定されます。
- ◆ 現在最も警戒すべきはランピースキン病です。国内・府内並びに個々の農場内への侵入防止のため、畜産農家におきましては一層の警戒感を持って飼養衛生管理基準順守の徹底をお願いします。



- ◆ 畜産関係者におきましては、家畜伝染病発生地域への渡航は自粛してください。家畜伝染病発生地域からの畜産物等の持込みの禁止を徹底をお願いします。
- ◆ 衛生管理区域や畜舎への立ち入りの際は、「長靴・手指を消毒する」、「専用の手袋や長靴を着用する」等、病原体の持ち込み防止を徹底をお願いします。
- ◆ 家畜の健康観察を毎日実施し、異常を認めた際は、診療獣医師や家畜保健衛生所へ速やかに連絡をお願いします。